



From
Sakai City

To
You

2024	vol. 06
------	---------

Content

**A NEW
PLACE**

A NEW PLACE

坂井市総合政策部企画政策課
ふるさと納税推進室

2024年 12月 発行

AD・取材・文／佐藤実紀代 (HOSHIDO) ※

写真／酒井 裕子 ※

デザイン・印刷／株式会社ワタナベ印刷

※一部を除く

【お問い合わせ】

坂井市総合政策部企画政策課
ふるさと納税推進室

〒919-0592 福井県坂井市坂井町下新庄1-1

TEL.0776-50-3026 FAX.0776-66-2935

【受付時間 9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)】

E-mail/ furusato_tax@city.fukui-sakai.lg.jp

<https://www.city.fukui-sakai.lg.jp>

「タイミング」

というのは不思議なもので
風に吹かれるように導かれて
この場所に移り住んだ人たちがいます。
それぞれの土地で結んだ縁で
それぞれの花を咲かせ、
実ったものを、また誰かのために送り出す。
もしも、タイミングが生まれなかったら
お届け物も生まれなかった……
かもしれません。
不思議な縁がまわり回って
新たなものを生み出す。
そんなストーリーをお楽しみください。

From
Sakai City

A NEW PLACE

Madoka LABO のクッキー缶

クッキー缶の蓋を開いた途端、「わぁ!」という歓声が上がった。米粉を使った色とりどりの8種類のクッキーがぎゅっと詰まって、どれから食べようか迷ってしまう。眼鏡型のクッキーを取り出すと、「これはフランスのリヨンの『リュネット』という焼き菓子で、ジャムのいちごは坂井市のアオハル農園さんの無農薬のもの。味が深くて、煮詰めても風味が残るんですよ」と、パティシエの細田^{マドカ}窓可さんは教えてくれる。クッキー1枚の裏側に、様々な人との縁や食材にまつわるエピソードが隠れていて、知れば知るほど大切に噛み締めたい。

窓可さんは島根県に生まれ、小さな頃からお菓子が大好き。中学生の時に手作りのクッキーを食べたことがきっかけで、この

世界に深くのめり込んでいった。専門学校に進学しフランスに留学後、菓子店で経験を積み、教員に転職。そして、友人を通じて訪れたことをきっかけに、果物や米などの食材が豊富な福井県坂井市に移住した。「店舗を持たないお菓子屋さん」として焼き菓子の制作販売をしながら、三国駅近くにあるシェアキッチン「MOF Kitchen」で、月に一度、焼き菓子やドリンクを味わえるイベントを開いて情報発信を行う。

窓可さんのお菓子の知識の深さは、いつまでも聞いていたくなるラジオのよう。「偶然にも縁が生まれた人たちのお菓子をクッキー缶やレンビに反映させていきたい」と話す窓可さんのレンビは、出会いと共にこれからも進化を続ける。



「LABO」はフランス語で「実験室」などの意味がある。縁あって手に入れた素材をいかに美味しく生かせるか、試行錯誤するための活動そのものだ。素材に真っ直ぐに向き合う窓可さんの誠実さがお菓子一つ一つに溢れている。

撮影場所: MOF Kitchen



さんさん池見のコシヒカリを使用した
米粉のクッキー缶

寄附金額 **11,500円**

容量
フランス缶 1缶 150g
*ねずみ(バニラ) *マドレーヌ(ココア) *抹茶 *ビスコッティ
*ガレット・ブルトンヌ *リュネット(いちご)
*ダイヤモンド・ショコラ *プール・ド・ネージュ



Instagram

焼き上げる時の香ばしい香りが部屋を包むと、誰もが自然と笑顔になる。フランスでは、伝統菓子であるマドレーヌの意味も含めた愛称「マド」と呼ばれていたそう。夜まで作業が及ぶ忙しい日は、クッキーのネズミ君が起きて手伝ってくれる妄想してしまうとか。

From
Sakai City

A NEW PLACE

ぐるりと深い緑に囲まれた竹田地区は、市街から竹田川の清流に沿って車で15分と近い森の中にある。天然温泉を併設するキャンプ場は人気があり、県内外からアウトドア好きが訪れるスポットだ。その一角にある製材所「セルフネン」で、間伐材を活用したプロジェクト「たけくらべ製材所」を立ち上げたのは、移住者の相原^{としはる}利治さん。

兵庫県出身の相原さんは、以前仕事で1週間ほど竹田に滞在することがあり、「ちびっ子たちがみなさん気持ちの良い挨拶をしてくれて。自然もあつていいなあ、いずれここに住みたいな」とフィーリングがピッタリきたと言う。そして、3年前、母親の介護をきっかけに東京から竹田へ移住。仕事先として製材所を選

たけくらべ製材所の薪

んだが、木材については未知の世界だった。日々、森の実情を知る中で、倉庫に眠っている使われることのない端材の山を目の当たりにし、何かに活用できないかと考えた。「素人だからこそ気づけることがチャンスだと思って」と、建材ロスなどで積み上がった木の端材を加工し、アウトドアの薪セットとして販売したところ、倉庫の一山がなくなった。現在は、燃料にも使えるウッドプレート「シダーブランク」の開発に携わっている。

「僕はコネもないし、知識もない。でも、それが自由だし、行動力になっています。街まで車で15分で、こんな素敵な森があるんですよ。コーヒー片手に静かにぼーっとできる贅沢さをもっと伝えたい」と、熱を帯びる相原さんの次のアイデアが楽しみだ。



木材市場に行き、県内外の仕入れ業者と共にセリに参加して、木材を仕入れてくる。木材の良し悪しを見極めるには、まだまだ経験が必要だ。端材を活用するアイデアの数々は、この秘密基地のような拠点で生み出される。



焚付用 薪(坂井市産杉) 3kg
たけくらべ製材所 特製木箱入り

寄附金額 8,100円

容量
長さ・割サイズ: 約30cm 木口から見た1辺約2~4cm
入数・重量: 60本前後 約3kg
箱サイズ: W374mm × D264mm × H280mm



Instagram

自然が好きで、ロードバイクで走るのが趣味という相原さん。木材を不燃処理する大型の窯があり、近隣地域の木材が集まってくる。夏場は天然のサウナのように蒸し上がる倉庫だが、不思議と圧迫感がなく、体が贅うような気持ちに。

From
Sakai City

越前チーズ工房のチーズ

歴史を感じさせる荘厳な屋敷の門をくぐると、のほほんとした雰囲気オーナー・山本幸太郎さんが出迎えてくれた。風流な竹林が見える真っ白な工房の中、淡々と山本さんはチーズの仕込み作業をこなしていく。普段は食品配送の運転手として勤務しながら、週末は工房で可愛いチーズを作るという、山本さんのギャップがたまらない。

北陸地方の中でも乳質の評価が高い、あわら市の「田嶋牧場」の牛乳を買いに行くことからチーズづくりは始まる。その量は約50〜100L。モッツアレラやゴーダなどを作ると、乳量の約1割がチーズになる。山本さんは北海道で酪農の傍ら、チーズなどの加工の仕事で経験を積み、坂井市へ帰省。「自分で何か

を始めたいと思った時、やっぱりチーズが良いなと思って、もう一度千葉県いすみ市にある牧場でチーズづくりを学びました」千葉から再び帰省し、自宅の一角をDIYで工房として改修した。「チーズを作り出すためのスターターという乳酸菌はヨーロッパのものですが、1〜2ヶ月ぐらいで死活してしまうんですよ。その後、土着の菌が味に変化を付けることが面白いですね」

牛乳の風味がふんわりと香り、優しい味わいの毎日食べたい山本さんのチーズは、生産量が少ないため、手に入らないことも。「チーズづくりは興味が尽きることがないですね。5年続けていますが、少し納得できるようになったかな」と、照れ笑う山本さんのチーズは、彼の朗らかさそのものだ。

静かな工房の中で、かすかにBGMが流れる。福井では数少ないチーズ工房だが、住み慣れた場所だからこそ、気持ちを落ち着けていられるそう。近所の人にもたに買いに来てくれ、今年は町内の区長も務める忙しい日々だ。



搾りたての生乳で手作りした、
モッツアレラチーズ2袋入り

寄附金額 **6,000円**

容量
・「朝日のモッツァ」100g×2袋



HP

コロコロとしたモッツアレラたちが袋詰めされるのを待つ。朝も昼も夜も、一日中食べられるチーズとして、それぞれに名前が付けられている。幼い頃から遊び回ったという広い自宅の中庭には、ブルーベリーやいちじくなどの実のなる木々も。

From
Sakai City

ふるさと納税 お申し込みの流れ



STEP1 お申し込み方法

以下のいずれかの方法によりお申し込みください。

インターネット

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税

ふるなび

さとふる

郵便

〒919-0592
福井県坂井市
坂井町下新庄1-1

FAX

0776-66-2935

Eメール

furusato_tax@city.fukui-sakai.lg.jp

STEP2 お支払い方法

以下のいずれかの方法によりお支払いください。

●ふるさとチョイス	●楽天ふるさと納税	●ふるなび
●さとふる	●寄付申込書	
クレジットカード決済	ソフトバンクまとめて支払い	
PayPay	PayPal	
楽天ペイ	メルペイ	
Amazon Pay	Pay-easy	
au PAY	ネットバンク支払い	
d払い	コンビニ支払い	
auかんたん決済	郵便払込	

*郵便払込用紙はお申し込みより1週間以内にお送りいたします。

STEP3 寄付金の使い道の選択

お申し込みの際に選択してください。
寄付金の使い道は随時更新しております。

STEP4 返礼品の選択

ポータルサイトより、
お選びください。

返礼品
1,200種類以上！

寄附金の使い道



地域資源

あなたの能力
どうぞお貸ください
～地域活性化支援事業～

新たな発想やノウハウ、地域振興への熱意を持った方を全国から募集し、地域の活力向上を期待し持続可能なまちづくりを目指します。

目標額 | 3,820万円

自然環境

第2ステージ！
「ストップ地球温暖化
～気候クライシスへの
チャレンジ」

地球温暖化・気候変動対策への意識・行動力を高めていくため、オリジナル教材の作成、授業実施や授業後の効果分析などを行いゼロカーボンの実現に向けて取り組みます。

目標額 | 715万5,500円



安全安心

空き家対策早期決断
応援事業

空き家等の所有者に建物の改修、解体、家財処分のほか、専門家への相談にかかる費用を支援し、地域住民が安心して暮らし続けることのできるまちづくりを目指します。

目標額 | 3,000万円



地域資源

坂井市シティプロモーション事業
～北陸の魅力が詰まった観光の宝庫～

多くの方に情報が届くようにプロモーション展開し、坂井市の文化や特色を生かして、観光客に特別な体験をしていただけるコンテンツを創出します。

目標額 | 7,410万円

自然環境

農業副産物利用
拡大事業

循環型の農業を推進するため設備導入に係る経費を支援し、坂井市の農産物イメージアップとブランド化を図り、持続可能な農業を推進していきます。

目標額 | 2億7,000万円



文化・スポーツ

コロナ禍からの
文化芸術体験事業

コロナ禍で制限された文化芸術体験を復活させ、豊かな感受性、想像力や表現力など育み若者の創造性を育てていきます。

目標額 | 1,960万円



男女共同参画

出会いから結婚生活を
結婚応援団がサポート
します

結婚応援団であるメンターを養成するための費用とその活動費に活用します。多くの方が素敵なパートナーに出会い、カップル成立できるよう支援を行います。

目標額 | 1,000万円

子育て・教育

結婚応援日本一
プロジェクト

結婚応援のアイデア公募や結婚生活のスタートを支援することにより、坂井市全体で結婚世帯を応援する機運を高め、「結婚のまち坂井市」「住みよいまち坂井市」として移住・定住の促進へとつなげます。

目標額 | 2億円



文化・スポーツ

世界中で ONLYONE !
坂井市にしかできない
「国際ディスクゴルフ
大会開催事業」

国際大会開催に向け、プロ選手による講習会、小中学校と高校の出前講座、企業対抗や婚活事業等の各種イベントを実施してディスクゴルフの普及促進を図ります。

目標額 | 1,803万6千円



坂井ほや丸
HP

坂井ほや丸
公式 X

事業報告

坂井市公式キャラクターの誕生

令和6年3月23日に爆誕。
自分で市役所に出生届を提出。

Message

一緒に坂井市の魅力を
知ることができました！

ほや丸は、こどもに人気があるだけでなく、大人でも童心に帰れるような存在です。

困り肩、つぶらな目、マイペースなトーク：ほや丸の好きなところを挙げるときりがありません。イベントで会うたび、ほや丸と一緒に坂井市の魅力を

知ることができます。

ほや丸に出会えて、坂井市に住んでいてよかったと感じています。

ほや丸ちゃん、
いつも癒しをありがとう！

SNSでほや丸ちゃんを知り、一目惚れしました。ほや丸ちゃんを通して坂井市の観光地、魅力を知るとともに、移住したばかりで知人がいなかった私に飼い主さん（フアンネーム）の知り合いができました。

ほや丸ちゃんの推しポイントは圧倒的に可愛いビジュアルです。

あと、SNSでのまめな返信、老若男女問わず優しいところ。お仕事に一生懸命な所です。

ほや丸ちゃん、いつも癒しをありがとう☆

※ほや丸ファンのことを「飼い主」と呼びます。



坂井市公式キャラクター「坂井ほや丸」は、東尋帽（東尋坊の帽子）をかぶったボメラニアンの子犬。高いところががて。寄附金は、ほや丸のご飯代（活動費）に充てられています。

寄附金活用予定総額

20,000,000円

出前講座の一環で、ビオトープのバイブラインにホタルの幼虫を放流する様子。
一緒にホタルの飼育に取り組んでいます。

事業報告

ビオトープ公園再生における ホタルプロジェクト

Message

ビオトープ公園を
ホタルでいっぱいになりたい

かつては子どもたちの元気な声が響いていたビオトープ公園。建設後15年が経過し、手入れがされず年々訪れる人も少なくなってきました。「何とか元のビオトープ公園に戻してほしい」という地域の声に応えるため、プロジェクトチームを立ち上げホタルが飛び交う公園の再生に取り組んでいます。

ホタルが成長するには長い月日がかりです。専門家の助言を得ながら地域住民と共に試行錯誤を繰り返す日々でしたが、なんと、今年はホタルが飛び立ちました！「ホタルでいっぱいになりたい」という思いが、一歩前進した瞬間でした。現在、ビオトープ内にホタルが育ちやすい水辺の環境作りに取り組んでいます。今後も、ホタルの飼育を通じて地域の憩いの場を創出し、子どもたちに豊かな自然を残していきます。



三国木部ホタル研究所
理事長 森岡 正己さん(左)
代表 斎藤 廣行さん(右)

三国木部まちづくり協議会が、ビオトープ公園を再生するとともにホタルの飼育に取り組んでいます。
これまで、公園トイレの整備のほか、ホタル飼育に関して出前授業も行いました。

寄附金活用予定総額
23,000,000円



事業報告

“わんぱく王国” 坂井市子ども自然体験促進事業

わんぱく王国メニューの中のひとつ「鷹取山トレッキング」の様子。青空の中、大勢の方にご参加いただきました。



みずはら めい
笹原 芽那さん
(小学5年生)

わんぱく王国のサーフ体験がきっかけで、地元のスーフィンスクールへも通うようになった笹原芽那さんにインタビュー。小学生サーファー大会で県代表に選ばれるほどの腕前になり、朝子二人三脚で全国のを飛び回っています。

増えたことも嬉しいですね。サーフィン仲間が増えるといいと思います。

サーフィンを通して学校以外の知り合いが増えたことも嬉しいですね。サーフィン仲間が増えるといいと思います。

サーフィンを始めたきっかけは、小学3年生の時に見つけたわんぱく王国のチラシです。一目見て「楽しそう！やってみたい！」と思い参加し、サーフィンの楽しさを知りました。自分で波に乗る瞬間と、上手く波に乗れた時が楽しいです。

Message

サーフィンとの出会いは
「わんぱく王国」！

小学生を対象とした海・山・川の豊かな自然を生かした、登山・キャンプ・カヌーなどの体験事業「わんぱく王国」を開催し、これまで80回以上実施、延べ1000人以上の小学生にご参加いただきました。

寄附金活用予定総額

25,000,000円

この度は、ふるさと納税による寄附を通じ、坂井市をご支援いただき、誠にありがとうございます。

坂井市では、「ふるさと納税制度」がスタートしました平成20年より、他の自治体とは一線を画した坂井市独自の「寄附市民参画制度」に取り組んでまいりました。

本制度では、寄附金の使い道を市民から募り、その実施決定に至るまで市民の意思を積極的に取り入れるという、全国で唯一の取り組みを行っております。また、寄附者の皆様には、寄附金の使い道をお選びいただくことにより、坂井市政に参画していただいております。

今回、本制度により実現しました事業や市民からの感謝のメッセージなどを広くお伝えしたいという思いと、坂井市へのご支援に対する感謝の気持ちを込めまして、冊子を作成しました。

ぜひ、ご一読いただき、坂井市への愛着をより一層深めていただければ、幸いに存じます。

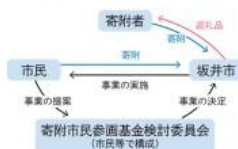
坂井市長
池田 禎孝



寄附市民参画制度とは

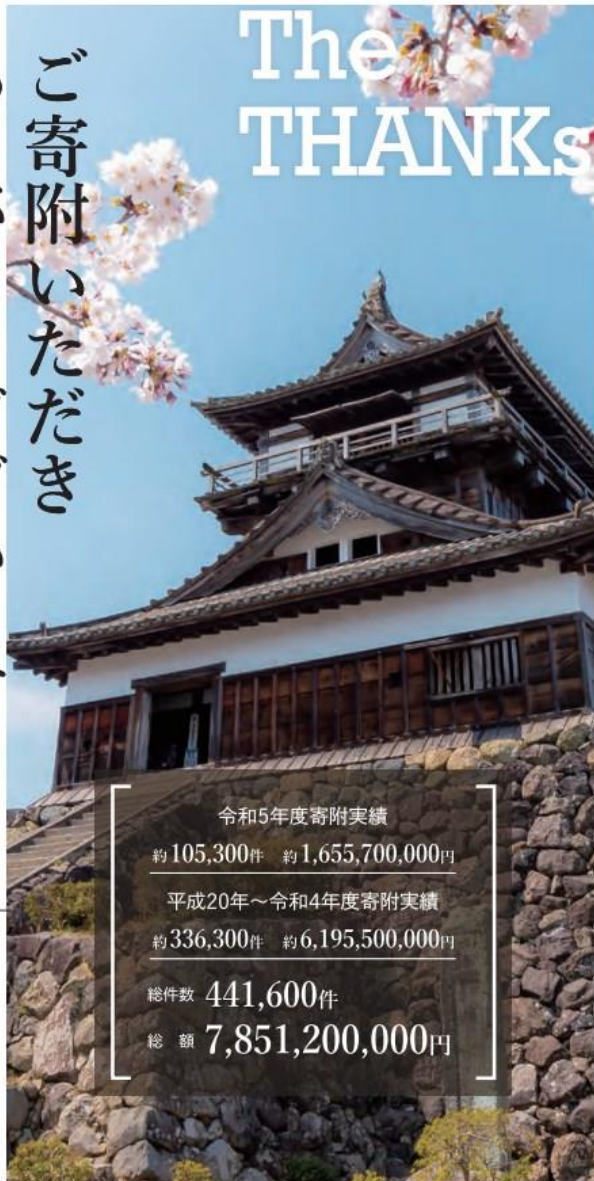
寄附金の使い道を選ぶことができるのも、ふるさと納税の大きな魅力のひとつです。坂井市では、市民より寄附金の使い道を募集し、提案いただいた事業案の中から、市民等で構成する寄附市民参画基金検討委員会にて寄附金を募集する事業を決定します。寄附者の皆様には寄附をする際に応援する事業を選んでいただいております。ふるさと納税を通して市政に参画いただいております。

【 制度イメージ 】



ご寄附
いただき
ます
ありがとうございます

The THANKs



令和5年度寄附実績

約 105,300件 約 1,655,700,000円

平成20年～令和4年度寄附実績

約 336,300件 約 6,195,500,000円

総件数 441,600件

総額 7,851,200,000円



From
You

To
Sakai City

2024	vol. 06
------	---------

Content

**The
THANKs**
